

○ 学力・学習状況調査 報告

藤が丘小学校

(教科別学習状況調査結果)(平均正答率%)

	国語	算数	理科
全国	65.6	63.2	63.3
神奈川県	65	64	63
藤が丘小学校	72	72	70

(国語)

すべての領域で、全国平均・神奈川県平均を上回っていました。学習指導要領の領域としては、特に「読むこと」「話すこと。聞くこと」に関する問題の正答率が目立っていました。一方で「漢字」や「書くこと」に関しては、全国平均並みでした。

(算数)

すべての領域で、全国平均・神奈川県平均を上回っていました。学習指導要領の領域としては、特に「思考・判断・表現」に関する問題の正答率が目立っていました。中でも「示された場面において目的に合った数の処理の仕方を選ぶ」問題では、全国平均を20ポイントも上回っており、また、「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する」問題についても、全国平均を10ポイント以上、上回っていました。このことから、数学的な考え方がよく身に付いているといえます。

(理科)

すべての領域で、全国平均・神奈川県平均を上回っていました。学習指導要領の領域としては、「知識・理解」「思考・判断・表現」ともに、10ポイント前後上回っている問題が多くありました。一方、「観察で得た知識を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつ」など「自分の考えをもつ」問いについて、全国平均とほぼ変わらない結果のものもありました。

(意識調査)

「朝食」「計画的な学習」「読書」などの生活や学習の習慣が安定した状況でした。学校生活で友達と協力して楽しく過ごしている項目が全国平均を上回っており、学校生活を楽しんでいることがわかりました。また学校以外でも活動が多く、放課後に学習塾等での勉強時間が長いことや休日の勉強時間が長いことが読み取れ、学習に対する意識が高いことがわかります。

ICT機器を利用する項目では、学級の友達と意見を交換する場面や自分の考えをまとめ発表する場面で使用してきました。そのため使用率は全国よりも大幅に上回っており、ICT機器を使ってよりよい学習につなげている様子が読み取れました。一方で、携帯電話・スマートフォン・コンピュータの使用頻度が高くなり、使い方についての約束を守っている人が全国平均を下回りました。SNSや動画の視聴時間は全国平均よりも少ないですが、ICT機器の使い方や約束については、引き続き指導に務めていきたいと思えます。